

## 第 7 回 鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)結果概要

「第 7 回鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)」を実施し、結果をとりまとめましたのでお知らせします。

- 平成 29 年 1～3 月期の業況は「やや悪化」。
- 建設業と不動産業は改善したものの、その他の業種では悪化し、特に卸売・小売業と運輸業では大幅に悪化した。
- 平成 29 年 4～6 月期の業況は「やや悪化」する見通し。

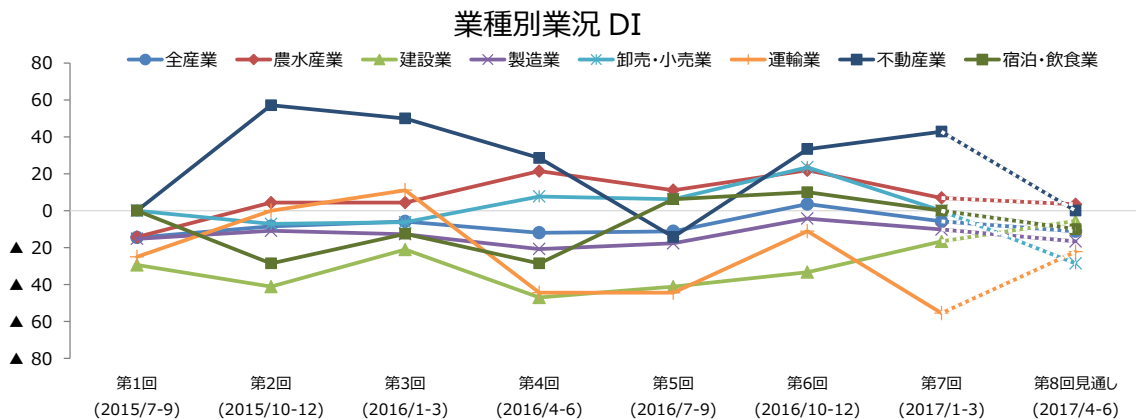
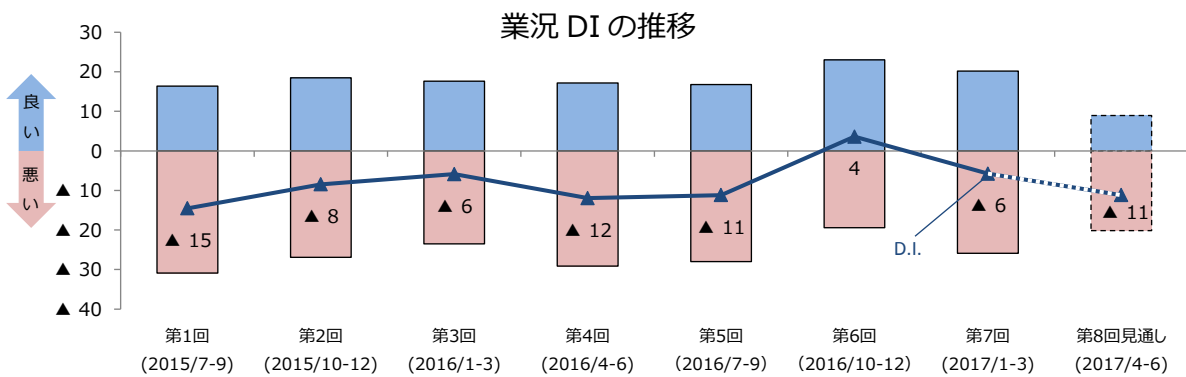
### 業況 DI

○今期は▲6(良い<悪い)と、前期(4)よりやや悪化し、マイナスに転じた。

- 業種別では、不動産業(前期 33→今期 43)は改善、建設業(前期▲33→今期▲17)は依然マイナス圏に留まるものの 3 期連続で改善した。一方、その他の業種は悪化しており、特に卸売・小売業(前期 24→今期 0)と運輸業(前期▲11→今期▲56)では大幅に悪化している。
- 前年同期(▲6)と比較すると、横ばいとなっている。

○来期は▲11(良い<悪い)と、やや悪化する見通し。

- 業種別では、運輸業(今期▲56→来期▲22)はマイナス圏に留まるものの大幅に改善する見通し。一方、卸売・小売業(今期 0→来期▲29)と不動産業(今期 43→来期 0)は大幅に悪化すると見込まれる。



※ 上記は、主な DI 値の概況です。詳細は「鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)結果」を御覧ください。

概 況

業 況 D I	<p>○今期は▲6(良い&lt;悪い)と、前期(4)より<u>やや悪化</u>し、マイナスに転じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 業種別では、不動産業(前期 33→今期 43)は改善、建設業(前期▲33→今期▲17)は依然マイナス圏に留まるものの 3 期連続で改善した。一方、その他の業種は悪化しており、卸売・小売業(前期 24→今期 0)と運輸業(前期▲11→今期▲56)では大幅に悪化している。</li> <li>▶ 前年同期(▲6)と比較すると、横ばいとなっている。</li> </ul> <p>○来期は▲11(良い&lt;悪い)と、<u>やや悪化</u>する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 業種別では、運輸業(今期▲56→来期▲22)はマイナス圏に留まるものの大幅に改善する見通し。一方、卸売・小売業(今期 0→来期▲29)と不動産業(今期 43→来期 0)は大幅に悪化すると見込まれる。</li> </ul>
生 産 高 D I	<p>○今期は▲16(増加&lt;減少)と、前期(▲11)より<u>やや悪化</u>した。</p>
売上・完工高 D I	<p>○今期は▲3(増加&lt;減少)と、前期(6)より<u>やや悪化</u>し、マイナスに転じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 業種別では、不動産業は 57 と前期(33)より大幅に改善した。一方、運輸業では▲33 と前期(▲11)より大幅に悪化している。</li> </ul> <p>○来期は▲6(増加&lt;減少)と、<u>やや悪化</u>する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 業種別では、運輸業(今期▲33→来期▲11)はマイナス圏に留まるものの大幅に改善する見通し。一方、不動産業(今期 57→来期 0)は大幅に悪化、卸売・小売業(今期 13→来期▲15)も大幅に悪化しマイナス圏に転じると見込まれる。</li> </ul>
製品・商品在庫 D I	<p>○今期の在庫の過不足感は「過剰」が 8%、「適正」が 75%、「不足」が 17%、DI は ▲9(過剰&lt;不足)となり、前期(▲5)より<u>やや不足</u>となった。</p>
製(商)品販売単価 D I	<p>○今期は 5(上昇&gt;低下)と、前期(6)と<u>ほぼ横ばい</u>となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 業種別では、卸売・小売業(前期 0→今期 20)と不動産業(前期 0→今期 25)は大幅に上昇、建設業では 12 と前期(▲22)から大幅に上昇しプラスに転じた。</li> </ul> <p>○来期は▲2(上昇&lt;低下)と、<u>やや低下</u>する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 業種別では、宿泊・飲食業が▲18 と今期(8)より大幅に低下しマイナスに転じる見通し。</li> </ul>
原材料仕入単価 D I	<p>○今期は 38(上昇&gt;低下)と、前期(27)より<u>上昇</u>した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 業種別では、建設業(前期 33→今期 56)と卸売・小売業(前期 12→今期 33)、運輸業(前期 17→今期 75)は大幅に上昇している。</li> <li>▶ 建設業と卸売・小売業の製(商)品販売単価 DI はそれぞれ上昇しているが、運輸業は低下(製(商)品販売単価 DI▲13)しており、仕入単価の上昇が販売単価に転嫁されていない状況であることがうかがえる。</li> </ul> <p>○来期は 38(上昇&gt;低下)と、<u>横ばい</u>の見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 業種別では、宿泊・飲食業(今期 38→来期 9)は大幅に低下する見通し。</li> </ul>
資金繰り D I	<p>○今期は▲9(楽&lt;苦しい)と、前期(▲8)と<u>ほぼ横ばい</u>となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 業種別では、製造業と宿泊・飲食業はやや改善、不動産業は改善した。一方、農水産業と運輸業、建設業はやや悪化、卸売・小売業は悪化している。</li> </ul> <p>○来期は▲13(楽&lt;苦しい)と、<u>やや悪化</u>する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 業種別では、卸売・小売業はやや改善、運輸業は改善する見通し。その他の産業ではやや悪化すると見込まれる。</li> </ul>

概 況	
雇 用 人 員 D I	<p>○今期は▲42(過剰&lt;不足)と、前期(▲40)とほぼ横ばいとなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 依然として全ての業種でマイナスとなっており、業種別では、特に運輸業は▲89 と雇用の不足感が強い。</li> <li>▶ 運輸業や建設業、製造業では人手不足が売上(受注)数量を制限している傾向がうかがえる。</li> <li>▶ なお、鹿屋公共職業安定所(鹿屋市、垂水市、肝属郡を管轄)の平成29年1~3月の有効求人倍率の平均は1.28倍となっている。3月の有効求人数(パート含む)は29か月連続の増加となっている一方、有効求職者数(パート含む)は15か月連続の減少となっている。</li> </ul> <p>○来期は▲40(過剰&lt;不足)と、ほぼ横ばいの見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 業種別では、製造業と卸売・小売業はやや改善、運輸業は改善する見通しだが、依然として全ての業種がマイナス圏に留まり、労働力不足の状態は続く見込まれる。</li> </ul>
損 益 D I	<p>○今期は▲6(好転&lt;悪化)と、前期(▲6)と横ばいとなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 業種別では、不動産業(前期17→今期57)と宿泊・飲食業(前期▲20→今期8)は大幅に改善した。一方、運輸業(前期▲22→今期▲44)は大幅に悪化している。</li> </ul> <p>○来期は▲10(好転&lt;悪化)と、やや悪化する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 業種別では、運輸業(今期▲44→来期▲11)は依然としてマイナス圏に留まるも大幅に改善する見通し。一方、卸売・小売業(今期13→来期▲8)と不動産業(今期57→来期0)は大幅に悪化すると見込まれている。</li> </ul>

#### 【調査概要】

1 調査対象： 市内事業所 182 先

( 農水産業 40 先、建設業 20 先、製造業 62 先、卸売・小売業 20 先  
不動産業 9 先、運輸業 12 先、宿泊・飲食業 19 先 )

回答数：141 件 回答率：77.5%

2 調査時期： 平成 29 年 4 月

3 対象期間： 平成 29 年 1~3 月期実績(今期)、平成 29 年 4~6 月期見通し(来期)

4 調査方法： 郵送方式

5 集計方法： 回答数の構成比を求めた上で、「良い」の構成比から「悪い」の構成比を引いて「D I 値」として指標化しました。

例えば、景況感の「良い」が 10%、「悪い」が 50%の場合、D I 値は「▲40」となります。「D I」(Diffusion Index、ディフュージョン・インデックス)は、企業や業界の景況感などを数値化した指標で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」(日銀短観)などで用いられています。

6 質問項目： 業況、生産高、売上・完工高、在庫、仕入単価、資金繰り、雇用人員、損益、今期損益の好転・悪化要因、自由意見

#### 鹿屋市 市長公室政策推進課

〒893-8501 鹿児島県鹿屋市共栄町 20 番 1 号

T E L : 0994-43-2111 F A X : 0994-42-2001

m a i l : seisaku@e-kanoya.net

第7回 鹿屋市短期経済観測調査（かのや短観）結果

(単位：%)

項目	平成28年10～12月 前 期				平成29年1～3月 今 期					平成29年4～6月 来 期 見 通 し			
	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	DI (A-C)	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	DI (A-C)	前 回 調 査 時 期 と 今 見 通 し	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	DI (A-C)
<b>自社の業況(景況感)</b>	<b>23</b>	<b>58</b>	<b>19</b>	<b>4</b>	<b>20</b>	<b>54</b>	<b>26</b>	↓ ▲ 6	▲ 6	<b>9</b>	<b>71</b>	<b>20</b>	↓ ▲ 11
農水産業	31	59	9	22	21	66	14	↓ 7	9	14	76	10	↓ ▲ 3
建設業	6	56	39	▲ 33	17	50	33	↑ ▲ 17	▲ 17	17	61	22	↑ ▲ 6
製造業	17	62	21	▲ 4	18	53	29	↓ ▲ 10	▲ 22	8	67	25	↓ ▲ 17
卸売・小売業	41	41	18	24	27	47	27	↓ 0	0	0	71	29	↓ ▲ 29
運輸業	0	89	11	▲ 11	0	44	56	↓ ▲ 56	▲ 11	0	78	22	↑ ▲ 22
不動産業	50	33	17	33	57	29	14	↑ 43	33	17	67	17	↓ 0
宿泊・飲食業	30	50	20	10	17	67	17	↓ 0	11	0	90	10	↓ ▲ 10
<b>生産高(製造業)</b>	<b>26</b>	<b>38</b>	<b>36</b>	<b>▲ 11</b>	<b>18</b>	<b>49</b>	<b>33</b>	↓ ▲ 16	▲ 19	<b>16</b>	<b>58</b>	<b>27</b>	↑ ▲ 11
<b>売上・完工高</b>	<b>34</b>	<b>38</b>	<b>28</b>	<b>6</b>	<b>29</b>	<b>39</b>	<b>32</b>	↓ ▲ 3	▲ 6	<b>16</b>	<b>63</b>	<b>22</b>	↓ ▲ 6
農水産業	33	52	15	18	28	48	24	↓ 3	0	21	66	14	↑ 7
建設業	22	33	44	▲ 22	28	17	56	↓ ▲ 28	▲ 17	18	53	29	↑ ▲ 12
製造業	32	34	34	▲ 2	21	45	34	↓ ▲ 13	▲ 19	13	60	27	- ▲ 13
卸売・小売業	50	28	22	28	40	33	27	↓ 13	6	8	69	23	↓ ▲ 15
運輸業	22	44	33	▲ 11	22	22	56	↓ ▲ 33	▲ 11	11	67	22	↑ ▲ 11
不動産業	50	33	17	33	71	14	14	↑ 57	50	17	67	17	↓ 0
宿泊・飲食業	40	40	20	20	31	62	8	↑ 23	11	20	70	10	↓ 10
<b>製品・商品在庫 (適正水準比)</b>	<b>多い</b>	<b>妥当</b>	<b>少ない</b>	<b>多い</b>	<b>妥当</b>	<b>少ない</b>	<b>多い</b>	<b>妥当</b>	<b>少ない</b>				
農水産業	3	83	13	▲ 10	5	68	27	↓ ▲ 23					
建設業	0	80	20	▲ 20	14	57	29	↑ ▲ 14					
製造業	9	78	13	▲ 4	4	84	11	↓ ▲ 7					
卸売・小売業	17	78	6	11	20	73	7	↑ 13					
運輸業	0	75	25	▲ 25	0	80	20	↑ ▲ 20					
不動産業	60	20	20	40	25	25	50	↑ ▲ 25					
宿泊・飲食業	10	70	20	▲ 10	0	92	8	↑ ▲ 8					
<b>製(商)品販売単価</b>	<b>上昇</b>	<b>横ばい</b>	<b>低下</b>	<b>上昇</b>	<b>横ばい</b>	<b>低下</b>	<b>上昇</b>	<b>横ばい</b>	<b>低下</b>	<b>上昇</b>	<b>横ばい</b>	<b>低下</b>	<b>上昇</b>
	<b>14</b>	<b>79</b>	<b>8</b>	<b>6</b>	<b>17</b>	<b>71</b>	<b>12</b>	↓ 5	3	<b>10</b>	<b>78</b>	<b>12</b>	↓ ▲ 2
農水産業	35	65	0	35	28	68	4	↓ 24	16	8	92	0	↓ 8
建設業	6	67	28	▲ 22	24	65	12	↑ 12	▲ 11	24	65	12	- 12
製造業	9	85	7	2	4	81	15	↓ ▲ 11	2	0	85	15	↓ ▲ 15
卸売・小売業	12	76	12	0	27	67	7	↑ 20	▲ 13	23	69	8	↓ 15
運輸業	0	100	0	0	13	63	25	↓ ▲ 13	0	13	63	25	- ▲ 13
不動産業	0	100	0	0	50	25	25	↑ 25	0	50	25	25	- 25
宿泊・飲食業	0	100	0	0	15	77	8	↑ 8	22	0	82	18	↓ ▲ 18
<b>原材料仕入単価</b>	<b>上昇</b>	<b>横ばい</b>	<b>低下</b>	<b>上昇</b>	<b>横ばい</b>	<b>低下</b>	<b>上昇</b>	<b>横ばい</b>	<b>低下</b>	<b>上昇</b>	<b>横ばい</b>	<b>低下</b>	<b>上昇</b>
	<b>30</b>	<b>66</b>	<b>4</b>	<b>27</b>	<b>40</b>	<b>58</b>	<b>2</b>	↑ 38	33	<b>40</b>	<b>58</b>	<b>2</b>	- 38
農水産業	41	53	6	34	52	44	4	↑ 48	38	48	52	0	- 48
建設業	33	67	0	33	61	33	6	↑ 56	44	56	39	6	↓ 50
製造業	24	71	4	20	21	77	2	↓ 19	29	30	68	2	↑ 28
卸売・小売業	18	76	6	12	33	67	0	↑ 33	0	31	69	0	↓ 31
運輸業	17	83	0	17	75	25	0	↑ 75	50	75	25	0	- 75
不動産業	50	50	0	50	50	50	0	- 50	75	50	50	0	- 50
宿泊・飲食業	40	60	0	40	38	62	0	↓ 38	44	18	73	9	↓ 9
<b>資金繰り</b>	<b>楽</b>	<b>普通</b>	<b>苦しい</b>	<b>楽</b>	<b>普通</b>	<b>苦しい</b>	<b>楽</b>	<b>普通</b>	<b>苦しい</b>	<b>楽</b>	<b>普通</b>	<b>苦しい</b>	<b>楽</b>
	<b>9</b>	<b>73</b>	<b>18</b>	<b>▲ 8</b>	<b>11</b>	<b>70</b>	<b>20</b>	↓ ▲ 9	▲ 15	<b>8</b>	<b>70</b>	<b>21</b>	↓ ▲ 13
農水産業	15	74	12	3	13	73	13	↓ 0	▲ 9	13	70	17	↓ ▲ 3
建設業	11	67	22	▲ 11	6	71	24	↓ ▲ 18	▲ 22	0	78	22	↓ ▲ 22
製造業	0	79	21	▲ 21	10	65	25	↑ ▲ 15	▲ 17	4	68	28	↓ ▲ 23
卸売・小売業	22	67	11	11	13	73	13	↓ 0	▲ 12	15	77	8	↑ 8
運輸業	0	78	22	▲ 22	0	75	25	↓ ▲ 25	▲ 33	0	88	13	↑ ▲ 13
不動産業	33	67	0	33	43	57	0	↑ 43	33	60	20	20	↓ 40
宿泊・飲食業	0	70	30	▲ 30	0	77	23	↑ ▲ 23	0	0	73	27	↓ ▲ 27
<b>雇用人員</b>	<b>過剰</b>	<b>適正</b>	<b>不足</b>	<b>過剰</b>	<b>適正</b>	<b>不足</b>	<b>過剰</b>	<b>適正</b>	<b>不足</b>	<b>過剰</b>	<b>適正</b>	<b>不足</b>	<b>過剰</b>
	<b>3</b>	<b>55</b>	<b>43</b>	<b>▲ 40</b>	<b>2</b>	<b>54</b>	<b>44</b>	↓ ▲ 42	▲ 42	<b>5</b>	<b>49</b>	<b>46</b>	↑ ▲ 40
農水産業	3	70	27	▲ 24	0	66	34	↓ ▲ 34	▲ 24	4	57	39	↓ ▲ 36
建設業	0	39	61	▲ 61	6	39	56	↑ ▲ 50	▲ 67	6	39	56	- ▲ 50
製造業	4	55	40	▲ 36	2	60	38	↑ ▲ 35	▲ 32	9	51	40	↑ ▲ 32
卸売・小売業	6	56	39	▲ 33	7	53	40	- ▲ 33	▲ 44	8	54	38	↑ ▲ 31
運輸業	0	11	89	▲ 89	0	11	89	- ▲ 89	▲ 89	0	22	78	↑ ▲ 78
不動産業	0	67	33	▲ 33	0	71	29	↑ ▲ 29	▲ 50	0	60	40	↓ ▲ 40
宿泊・飲食業	0	60	40	▲ 40	0	46	54	↓ ▲ 54	▲ 56	0	45	55	↓ ▲ 55
<b>損益</b>	<b>好転</b>	<b>横ばい</b>	<b>悪化</b>	<b>好転</b>	<b>横ばい</b>	<b>悪化</b>	<b>好転</b>	<b>横ばい</b>	<b>悪化</b>	<b>好転</b>	<b>横ばい</b>	<b>悪化</b>	<b>好転</b>
	<b>19</b>	<b>56</b>	<b>25</b>	<b>▲ 6</b>	<b>18</b>	<b>57</b>	<b>25</b>	- ▲ 6	▲ 10	<b>9</b>	<b>72</b>	<b>19</b>	↓ ▲ 10
農水産業	21	59	21	0	23	63	13	↑ 10	▲ 6	13	77	10	↓ 3
建設業	11	50	39	▲ 28	11	44	44	↓ ▲ 33	▲ 17	0	78	22	↑ ▲ 22
製造業	15	57	28	▲ 13	10	61	29	↓ ▲ 18	▲ 17	8	67	25	↑ ▲ 17
卸売・小売業	39	50	11	28	33	47	20	↓ 13	6	8	77	15	↓ ▲ 8
運輸業	0	78	22	▲ 22	11	33	56	↓ ▲ 44	▲ 33	11	67	22	↑ ▲ 11
不動産業	33	50	17	17	57	43	0	↑ 57	33	20	60	20	↓ 0
宿泊・飲食業	20	40	40	▲ 20	15	77	8	↑ 8	▲ 11	9	82	9	↓ 0

注)四捨五入の関係上、D I 値(A-C)は一致しない場合がある。